

保護者の皆様へ

子供たちの安全なインターネット利用のために フィルタリングサービスの導入を

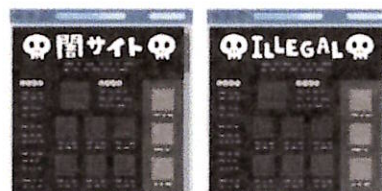
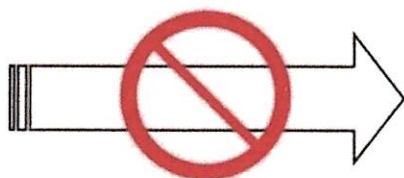
『フィルタリングサービス』の導入を！

休日になると、スマートフォンやタブレット端末等に触れる時間が長くなります。フィルタリングサービスを利用して、子供たちが安全にインターネットの利用ができるようにサポートしましょう。

保護者の方がフィルタリングサービスを導入していない理由として、「〇〇（アプリやサービス名）が使えなくなるから嫌だ」と子供に言われたというものがよくあげられます。フィルタリングサービスは、「これは使わせてもいい」というものを保護者の方が選択をして個別に利用可能に設定することができます。また、保護者の方の端末でお子さんの利用状況を確認することもできます。フィルタリングサービスの主な機能を紹介します。

～フィルタリングサービスの主な機能～

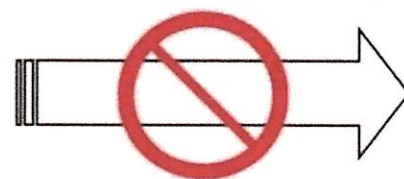
○子供たちにとって有害な情報を含むサイトへのアクセスを禁止する。



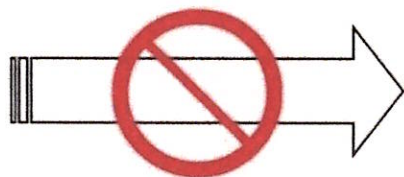
○曜日や時間帯ごとにインターネットやアプリの利用時間を制限する。



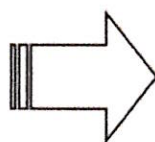
○有料アプリのインストールやアプリ内課金を禁止する。



○SNSや掲示板などへの書き込みを禁止する。



○子供のインターネット利用状況を確認する。



位置情報共有アプリで面識のない人と つながることの危険性

位置情報共有アプリで面識のない人とつながることの危険性

位置情報共有アプリは待ち合わせや災害時の安否確認などに使えて大変便利な反面、面識のない人とつながってトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあります。お子さんと一緒にアプリの設定を見直してみましょう。

〔位置情報共有アプリの機能について〕

位置情報共有アプリで他の利用者と友だちとしてつながると、右のイラストのように、たがいの現在位置を確認し合うことができます。また、サービスごとに違いはありますが、位置情報共有アプリには以下のような機能があるものもあります。

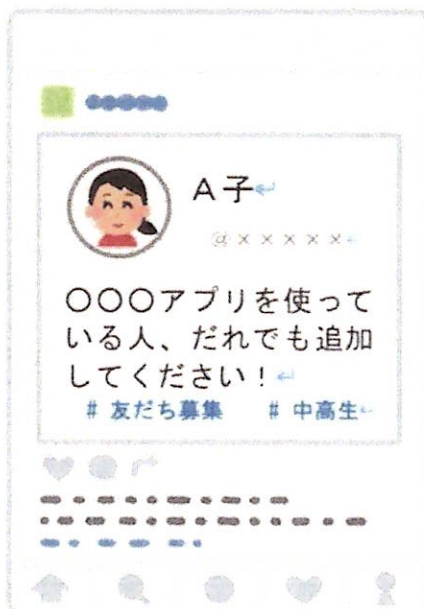
- ・ 滞在時間の表示
- ・ 滞在している場所のアイコン表示
- ・ つながった相手とのメッセージのやりとり
- ・ つながった相手のスマートフォンの電池残量表示



〔子供たちが面識のない人とつながってしまうことも・・・〕

インターネット上の他のサービスで知り合い仲良くなった人から一緒に使おうと誘われたり、自分のアプリのIDをSNS上などで公開して友だちを募集したりして、子供たちが面識のない人と位置情報共有アプリで友だちとつながってしまうケースがあります。

しかし、位置情報共有アプリでは、相手の家や学校、行動パターンなどが簡単にわかってしまうため、面識のない人とつながるのはとても危険です。面識のない人と友だちとしてつながったことで、ストーカー被害を受けたり、家に来られて暴行被害を受けたりしたという事件も実際に起きています。



夕方からずっとここに いるから、ここが A子ちゃんの家だな。



位置情報共有アプリではさまざまな情報が相手に筒抜けになるので、面識のない人とつながると事件に巻き込まれてしまう危険性があります。そのことを子供たちに理解させ、面識のない人とは絶対に友だちにならないように伝えてください。

また、自分のアプリのIDをインターネット上に載せないように注意しておくことも必要です。

ゲームでの課金トラブルを未然に防ぐために

『ゲームでの課金トラブル』にご注意を！

休日になると、スマートフォンやタブレット端末等に触れる時間が長くなります。ゲームの課金トラブルを未然に防止できるように、ペアレンタルコントロール等を活用しましょう。

〔課金トラブルの例〕

- ・ 子供に「1回だけだから」と頼まれ、子供のスマートフォンにクレジットカード情報を登録したが、クレジットカード情報を削除し忘れて、子供が課金を続けてしまった。
- ・ クレジットカードやキャリア決済を利用した課金は、その場で現金を支払う必要がないので、お金を使っているという実感があまりなく、ついつい課金をしてしまった。
- ・ キャリア決済になっていた保護者や子供自身のスマートフォンを使って課金をしていた。
※キャリア決済…アプリに課金したお金を後日の携帯電話の利用料金と一緒に支払うこと

〔課金トラブルを防ぐための対策の例〕

☆子供の課金を防ぐために☆

- ・ 子供の利用する端末に、クレジットカードの情報を登録したり残したりしない。



- ・ 子供のスマートフォンにおけるキャリア決済の利用を停止する。



- ・ 子供の端末におけるアプリ内の課金を禁止する。



☆課金を認める場合には、ルールを作成を☆

《ルールの例》

- ・ 1ヶ月に〇〇円までと、課金の上限金額を求める。
- ・ 課金する際には、利用残高がわかるプリペイドカードを使う。
- ・ 課金ノートを作って、いつどのくらい課金したのか記録する。

